

(10) 豊かな感性と表現

心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。



聴いてください！

踊り好き、歌好きの子どもたちが集まり、カラオケ大会の遊びが始まった。牛乳パックで作ってあったつい立てを使い、舞台と客席を分ける。なぜかつい立てには「へいてん」の文字。そんなことは気にしない。自分たちの歌いたい曲を大熱唱する。アカペラあり、曲がかかることもある。スタンドマイクは手作りのもの。お客さんからは、拍手と笑顔が送られていた。



保育者の援助と環境構成

子どもたちの周りには音があふれています。季節の歌、童謡なども織り交ぜながら、みんなで歌う時間もあります。「歌いたい。見てもらいたい。」と、自分たちの目的をもち、カラオケ大会遊びを進めていました。椅子は必須なようです。お客さんに来てほしいので、お知らせに行く姿もありました。見ている子どもたちも楽しさを共有しています。踊りもあり、お客さんを舞台に上げて、4歳児に何を歌いたいのか聞きながら、一緒に歌ったり踊ったりする時間もありました。



劇遊びって楽しい！！

絵本を読んでからの劇遊び。「私、王様！」「僕、ネコがいい。」自分のなりたい役をやってみる。「どんな王様？ネコはなんで王様に会いにきたの？」お話のあらすじに沿って、その状況に合わせて動きと言葉、そして表情で表している。王様らしい態度に思わず笑いが起きる。喜怒哀楽を表す楽しさをみんなで味わっていく。翌日は違う役もやってみる。歩くこと一つも、その心情を考えながら、みんなで作り上げていく劇は楽しい。



保育者の援助と環境構成

日常の保育でも表現遊びを取り入れ、なりきることの楽しさを味わえるようにしています。お店屋さんごっこでも恐竜ごっこでも、自分と違うものになることは、子どもたちにとってとても楽しいことです。劇も一つ一つ一緒に作り上げていくその過程が大切です。時には先生も役になりきります。登場する人や動物のお面などが始めにあると、なりたい役が選びやすくなるようです。少しの効果音が表現したい気持ちにつながります。



勝ったよー

種から育てたかぶの収穫です。「うんとこしょって言ったけど、すぐ抜けたよねー」そして子どもたちが慌てて走ってきました。「先生、人間が勝ったよー、やったあ！やったあ！」と大喜びです。絵本「おおきなかぶ」を思い出したのでしょうか。たくさんとれたのでみんなにおすそ分けするそうです。

